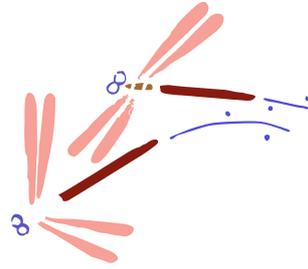


残暑お見舞い申し上げます

猛暑が続いておりますが、保護者の皆様・地域の皆様には、お変わりなくお過ごしでしょうか。

今年は、まだまだ暑い日が続くような気配です。どうぞお体をご自愛ください。

今後とも、ご支援賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



津島市立神守中学校長 小林秋良

今年の夏は、これまでに経験したことのない高い気温の日が続きました。朝の天気予報やニュースでは、「命にかかわる暑さ」「危険な暑さ」という言葉がよく遣われました。私は、これらの言葉を聞くたびに、“今日の部活の活動をどうしよう”と、自分に問いかけながら出勤の車のハンドルを握っていました。そして、学校に着くなり、寒暖計を持って校内の各箇所の気温を計って回りました。そして、出勤された先生方に「子ども達に無理をさせないよう、子ども達の様子を見て活動してください。早めに活動を終了してください。」と毎日声をかけました。

お盆休み前までは、屋外の運動部については、活動時間を短縮して一斉に終了してもらったことが数日ありました。先生方も、生徒が熱中症にならないように、水分補給や休憩をこまめにとることを意識しながら、活動時間を自主的に短縮したことが幾日もありました。ただ残念に思うのは、各部が新チームとなり練習を開始した7月23日に、気分が悪くなった生徒が数名出たことです。練習の初日とは言え、私たちの配慮が足りなかったと反省しています。

夏休みの活動もまだ数日残していますが、これまで救急搬送という最悪のケースを出すことはなく、今日にいたっています。“生徒の健康が第一。先生方の健康も第一。”このことは学校を預かる私にとっては当たり前のことではありますが、改めて深く考える機会を得た夏休みとなりました。